

## 平成 30 年度 地域ケアプラザ事業計画書

## 1 施設名

横浜市若葉台地域ケアプラザ

## 2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

## 1 全事業共通

## 地域の現状と課題について

【高齢者】：高齢化率が 46% を超えて、人口減少も進んでいる。地域包括支援センターへの相談件数も増えている。地域住民同士で支え合う意識や、そのシステムを構築するための活動も盛んである。高齢者だけではなく同居する家族の問題など、複雑なケースも多い。相談からそのまま施設入所に繋げざるを得ないケースもあり、家族の介護力が乏しくなっている。高層住宅団地の為、移動手段が課題として上がっている。また、独居の認知症の方を成年後見制度に繋げるなど、権利擁護についての課題も大きい。今後益々、そのような相談が増えると考えている。

【子育て】：少子化ではあるが、商店街の中に親と子のつどいの広場「そらまめ」に登録されている人数が増えている。また、子育てささえあい連絡会と若葉台子育て母の会が中心となって、「わかば子育てサポートグループ」の活動も行われている。そういった活動が実を結んでいるのか、今年度、若葉台小学校の新入生には転入者が 6 名あった。その反面、一人親世帯も多く、子供の孤食や虐待について見守りの必要がある。民生児童委員と学校が密接な関係性を維持し、また親父の会も立ち上がり、地域で子供を育てていこうという意識が高いと感じている。

【障がい児・者】：地域内には、障がいによりひきこもりや就労につけない方がいる。NPO 若葉台が運営する作業所「ぶんげいざ」により障がいのある方の居場所が確保されているも、地域との関わりは少ない。星槎中学高等学校や、特別支援学校もあり、障がいについて、地域住民が知識を深め、理解できる地域作りを進める必要がある。

【その他】：高齢化に伴い、支援を必要とする人を支える側の人材が不足している。若い世代だけでなく小学生や中学生についてもできる事を担える福祉的視点を学んでいく必要がある。

### (1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

#### 【高齢者】

- ・相談の来館者だけでなく、かがやきクラブやコミュニティハウスでの出張相談等、様々な場所で顔の見える関係づくりにより、相談しやすい環境整備に努める。
- ・介護予防事業や交流事業により、高齢者の健康づくりとひきこもりを防止する。
- ・高齢者等が活動する団体の課題解決に協力する。

#### 【子供】

- ・若葉台子育てささえあい連絡会や若葉台子育て母の会だけでなく、小学校・中学校との連携に努める。
- ・地域で子育てをする環境づくりに努める。

#### 【障がい児・者】

- ・わかば学園や星槎学園の就労体験やインターシップの受け入れをする。
- ・福祉フェアに障がい団体に参加してもらい、地域住民との交流の機会をつくる。
- ・精神障害者サロン「もぐもぐ」を開催し、精神障がい者の居場所づくりに努める。

### (2) 各事業の連携

- ・毎月の五職種会議で地域の情報を共有し、それぞれの業務について理解を深め、協力しながら地域の課題解決に取り組む。
- ・認知症カフェや若葉台中学校授業の「地域交流の日」に協力して、高齢者疑似体験や認知症サポーター養成講座を実施する。

### (3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・地域活動交流コーディネーター1名、生活支援コーディネーター1名、地域包括支援センター4名の体制の維持に努める。
- ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所のケアマネジメントに於いて、ご利用者・家族に対し、ハートページなどを利用して必要な情報の提供と、その意向を尊重しながら支援する。
- ・公正・中立の立場を認識し、地域に貢献する。

### (4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・かがやきクラブへの訪問や、友愛活動委員・民生児童委員との情報共有など、地域からの相談を適切に対応する。
- ・未来づくり協議会やひまわりサポート会議など、地域の情報共有の会議に出席して、地域課題について情報共有と意見交換の場をつくる。
- ・地域の活動団体と情報を共有しながら、地域ケアプラザの機能を生かし支援していく。

### (5) 区行政との協働

- ・ サービス B 実施団体に対し、区・区社協と協力して支援する。
- ・ 地域福祉保健計画地区別支援チームとして区・区社協と協力する。
- ・ 相談内容によってスムーズに行政に繋ぎ協力して対応する。
- ・ ゴミ屋敷問題やひきこもり問題など、適宜区・区社協と協力して対応する。
- ・ 各職種の連絡会に参加して、各職種の業務の充実に努める。

## 2 地域活動交流事業

### (1) 自主企画事業

- ・ 体操教室やノルディックウォーキング等運動を取り入れた事業を実施し、地域の高齢者が健康を維持して意欲を持って生活できるようにする。
- ・ 児童や乳幼児を対象とした内容を盛り込み、子育て中の世帯との関係を深められるよう事業を実施する。
- ・ 地域住民が楽しみを持って生き生きと過ごせるようコンサート等を開催する。
- ・ 精神障害を持つ方が安心して過ごせる居場所としてサロンを開催する。
- ・ 地域住民の活動の場、憩いの場としてクールシェア・福祉フェアを開催する。
- ・ 地域の学校と連携し、福祉についての啓発、実習への協力、パン販売事業等に協力する。

### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・ 貸館利用についてのルールに従い公正中立な利用運営に努めると共に、地域の団体が活動しやすいように相談を受け調整を実施する。

### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ 地域におけるボランティア活動が活性化するようケアプラザ各部署と協働し、ボランティア活動に興味を持っている地域住民が活動に繋がるよう、よこはまシニアボランティアポイント登録研修会やボランティア交流会等の事業を実施する。個々のボランティアの意識や興味を記録し、個人と団体が相互に必要な情報を得られるよう業務を行う。

#### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・地域福祉保健計画が推進するよう区役所・区社協・ケアプラザ各部署と協力し、地域に対して情報提供を行う。
- ・地域で活動をする福祉保健団体や趣味団体等が円滑に活動を実施できるよう、講座やイベントなど事業での連携を行い、会議等へ出席し情報提供・共有を行う。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

- ・地域で開催される会議や集まり等に参加し、生活支援体制整備事業についての説明や地域課題の共有を行う。
- ・地域包括支援センター、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターの五職種で毎月会議を開催し、地域情報の共有や各部門の取組について検討する。特に地域の人材育成に関しては、ボランティア講座を計画的に実施する。講座受講者には地域のボランティア活動の場を紹介し、実際の活動につながるよう努める。
- ・区役所、区社協地区担当、五職種で地域の状況や課題の共有を行い、地域への働きかけを検討していく。

#### (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・連合自治会、各自治会、かがやきクラブ等が開催するサロンや集まり等に参加し、活動内容・課題の把握に努める。
- ・担い手不足の課題を抱える地域のボランティア活動団体が多いため、ボランティア関連の講座等開催時に「若葉台地域の支えあい活動」一覧表を配布し、活動の周知、人材発掘に努める。
- ・階段等の移動に関する困りごとを抱える方の把握を行う。
- ・地域の活動情報をケアプラザ内で共有し、要支援者等のケアプラン作成に活用できるようにする。

#### (3) 連携・協議の場

- ・未来づくり協議会、みらいづくりプラン推進会議等の地域の会議に参加し、地域の情報を把握し、必要に応じてケアプラザで把握している情報を提供する。
- ・昨年度、開催した「移動支援検討会」で課題となった棟の階段移動ができず外出やサービスの利用に支障のある方のニーズを把握していく。また、階段の助け合い組織が必要という意見もあるため、検討を継続していく。
- ・第3期地域福祉保健計画推進の場である地区社協理事会で地域の課題を共有し、解決に向けての働きかけを行う。
- ・認定NPO法人若葉台が横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業の通所型支援、訪問型支援、見守り支援を実施している。定期的に活動の状況確認をするとともに会議等に参加し、情報交換を行う。

#### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・旭区生活支援コーディネーター連絡会で他のケアプラザと情報交換し、必要に応じて、区役所・区社協と連携を図る。
- ・旭区の第1層、第2層生活支援コーディネーターで食事サービス、ちょこっとボランティア、サロン活動の3部会を開催する。団体の共通課題を解決できるよう情報提供を行ったり、団体同士の情報交換ができるように支援する。その場で得られた情報を若葉台地域の各団体にも共有する。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ①地域におけるネットワークの構築

- ・地域におけるネットワーク構築のため、一つ一つの事例を通しながら各関係団体と顔の見える関係づくりを行い、連携を深めていく。
- ・地域資源のそれぞれの役割や内容を理解する。
- ・地域包括支援センターの役割への理解が深まるよう地域の会合等の出席や関係機関への訪問を行い周知を図る。
- ・地域包括ケアシステム構築のための基盤となるネットワークを目指す。

#### ②実態把握

- ・地域内の高齢者の実態把握に努める。(各種統計資料、相談や関係機関からの情報、事業後のアンケート等からの収集)
- ・積極的に地域の活動や催し物に参加し、情報を得る。
- ・高齢者の個別ニーズや地域のニーズ、インフォーマルサービスの情報整理や活用を生活支援コーディネーターと協力して行う。

#### ③総合相談支援

- ・高齢者の身近な相談窓口として様々な相談を受け止め、相談内容から課題を把握する。(必要があれば、こちらから直接訪問して状況確認に努める。1丁目などケアプラザが遠いところへの出張相談会等の開催を継続する。)
- ・相談内容に応じて適切な情報を提供し、関係機関や制度、地域資源、介護予防事業等につなげていく。(地域内のネットワークの活用も大切にする)
- ・支援が必要と思われるケースは継続的にフォローしていく。

## (2) 権利擁護業務

### ① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・ 成年後見制度の普及啓発のための講演会を行う。
- ・ 成年後見制度、日常生活自立支援事業（あんしんセンター）の活用が必要と思われる人については、区役所・区社協等の関係機関に繋ぐなど適切に支援を行う。
- ・ 成年後見制度の申し立てを考えている人に手続等適切なアドバイスを行う。
- ・ 消費者被害防止のための PR を行う。（かがやきクラブの定期訪問時に最新の情報を伝えるなど繰り返し行う）
- ・ 高齢者と接する機会の多い関係者に消費者被害防止のための情報を提供する。
- ・ 相談を受け、必要であれば消費者生活センター等につなぎ、解決支援を行う。
- ・ 旭区版エンディングノートの活用（講座開催）

### ② 高齢者虐待への対応

- ・ 民生委員、ケアマネジャー、介護保険事業者等と日頃から情報交換を密にし、虐待事例の早期発見に努める。
- ・ 必要時には緊急性を見極め、区との連携を図り、高齢者虐待防止法に基づいた対応をする。
- ・ 虐待防止と早期発見につながるような視点を持ってもらえるよう、民生委員に周知する。
- ・ 介護者のつどい等、介護者の負担を軽減できるような場を設け、未然防止に努める。

### ③ 認知症

- ・ 認知症の正しい理解のために普及啓発を行う。（認知症サポーター養成講座、講演会、かがやきクラブの定期訪問での講話）
- ・ 「旭区もの忘れ相談シート」を活用して、かかりつけ医への相談がしやすくなるよう支援する。
- ・ 認知症の人と家族が地域で安心して暮らせるようにネットワークの構築に努める。
- ・ 認知症の人と家族が共に安心して過ごせるために開設した認知症カフェ「けあぷらカフェ いこい」を継続する。
- ・ 必要な人に旭区徘徊 SOS ネットワークの登録を勧める。
- ・ 旭区認知症初期集中支援チームと連携し、必要があるケースは早期支援に取り組む。

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

#### ①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・若葉台地域の社会資源の調査・把握を生活支援コーディネーターと実施し、情報収集・整理に努めるとともに、必要時ケアマネジャーに情報提供を行う。
- ・住民の会議・講演会、かがやきクラブの定例会・茶話会で、地域住民に地域包括支援センターの活動、介護保険制度やサービス、ケアマネジャーの役割などを周知する。
- ・民生委員、友愛活動員等との定期的な情報交換を実施する。
- ・「地域ケア会議」「ケアマネジャー連絡会」等を活用して、ケアマネジャーと民生委員、ボランティア団体、介護保険サービス事業者等の情報交換の機会を作る。

#### ②医療・介護の連携推進支援

- ・ケアマネジャーと医療機関等の情報交換の場をつくる。
- ・「旭区もの忘れ相談シート」の活用を進める。
- ・地区内の医療機関（医師・医療相談員等）を訪問、関係づくりを図る。

#### ③ケアマネジャー支援

- ・ケアマネジャーからの相談にいつでも対応できる体制を整え、適切な支援を行う。（支援困難事例、緊急対応が必要な事例等）
- ・サービス担当者会議の開催支援を行う。
- ・ケアマネジャー向けの研修会、事例検討会、ケアマネジャー同士の交流会や多職種の交流会を近隣包括支援センターと共催で行う。
- ・着任予定の新任ケアマネジャーに対する研修会等を区内全地域包括支援センターで実施する。
- ・旭ケアネットの支援を行う。

### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

#### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・「地域ケア会議」の開催を通して、多職種や地域の支援者が集まり、それぞれ意見を出し合うことで、個別課題の解決から地域課題の把握へと地域包括支援ネットワークの構築を目指していく。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・要支援者等の主体性・意欲を引き出し、「自分らしさを維持しつつ、目的を持って生活できるよう」に介護予防マネジメントを行っていく。
- ・委託を行う場合は、ケアマネジャーと連携し、適切なケアマネジメントができるよう支援する。
- ・ケアプランの中に地域のインフォーマルサービス等を活用する視点を大切にする。
- ・介護予防ケアマネジメントに関する研修を行い、包括内ケアマネジャーのケアマネジメント力を高めるようにする。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・地域内の高齢者の状態を把握して、介護予防のきっかけになるような情報提供と活動への参加を促していく。
- ・「GoGo 健康講座 2018」、「男性のための GoGo 健康講座」「ゆっくりノルディック」等のプログラムを実施し、地域高齢者の筋力、体力の維持強化に努める。
- ・口腔ケア、栄養、認知症予防（コグニサイズ・音楽療法）についての講座を開催し、介護予防の具体的な考え方、工夫を学ぶ機会を作る。
- ・かがやきクラブの定例会や、茶話会等の訪問時に、介護予防のミニプログラムを提供する。
- ・自主活動グループが活動を継続できるよう後方支援を継続する。

その他

--



以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

### 施設の適正な管理について

#### ア 施設の維持管理について

- ・ 建築基準法 12 条点検により、問題のある箇所について修繕計画を立てる。
- ・ 修繕管理システムを活用して、適切な修繕対応に努める。
- ・ 年間の計画点検及びメンテナンスを実施し、施設設備、備品の適切な維持管理に努める。

#### イ 効率的な運営への取組について

- ・ 業務の見直しを実施し、必要に応じ業務改善に努める。
- ・ 運営の効率化を図り、省エネ、光熱費などの削減に努める。
- ・ 中間就労等や業務改善など、職員が働きやすい職場づくりに努める。

#### ウ 苦情受付体制について

- ・ 苦情受付体制や受付窓口について、契約書類内容や館内掲示物などにより地域住民に周知できるように努める。
- ・ 苦情を受けた際には速やかに市・区に報告し、迅速に対応する。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 年間の防火防災訓練計画を立てて実施する。
- ・ 地域の防災訓練に協力して、防災マニュアルと連携体制について検討する。
- ・ 備蓄品を適正に管理する。
- ・ 2 階の多目的ルームなどを利用する地域の団体に対し、緊急時の避難経路等のマニュアルを周知する。

#### オ 事故防止への取組について

- ・ 事故リスクについて共有できるように、ヒヤリハットやインシデントを活用して職員に対し注意喚起する。
- ・ ドライバーの安全運転について、チェック表を利用して注意喚起を行う。
- ・ 事故発生時の初動対応などについて職員に周知する。
- ・ 個人情報保護について、郵送や情報発信時のダブルチェック等により漏洩事故防止に努める。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・全職員に対し、個人情報保護について研修を実施する。
- ・個人情報保護について、郵送や情報発信時のダブルチェック等により漏洩事故防止に努める。
- ・個人ファイルやUSBメモリーなど厳重管理を徹底し、事故防止に努める。
- ・機密書類について適切に処理する。

#### キ 情報公開への取組について

- ・第三者評価、情報公表制度などにより、当施設の情報を公開し、透明性を確保する。
- ・ケアプラザだより、ホームページ、みんなの若葉台などの地域広報誌を活用して、地域ケアプラザの情報を伝える。

#### ク 人権啓発への取組について

- ・成年後見制度や消費者被害、認知症サポーター養成講座など、講演や紙面配布により地域住民への周知に努める。
- ・高齢者、こどもへの虐待防止について、講演などを行い地域に啓発する。

#### ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・フロンガス漏れを定期点検する。
- ・グリーンカーテンにより冷房エネルギーの削減を行う。
- ・エコキャップやゴミの分別処理を適切に行う。
- ・害虫駆除を計画的に実施する。

## 介護保険事業

### ● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

保健師・・・・・・・・・・1名  
社会福祉士・・・・・・・・・・2名  
主任介護支援専門員・・・・1名

#### 《目標》

高齢者が住み慣れた地域で可能な限り、自分らしく暮らせるように支援する。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 男性のための健康増進講座等の介護予防事業
- 総合相談窓口
- かがやきクラブ等への定期訪問による講話や体操
- 権利擁護、消費者被害、介護者の会
- 認知症カフェ
- 予防ケアマネジメントと介護支援専門員への支援

#### 《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
101	101	101	101	106	106
10月	11月	12月	1月	2月	3月
106	106	106	106	106	106

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者（正職員・主任介護支援専門員兼務）・・・・・・・・ 1名  
 主任介護支援専門員（正職員兼務）・・・・・・・・ 1名  
 介護支援専門員（常勤専従）・・・・・・・・ 3名  
 介護支援専門員（非常勤専従）・・・・・・・・ 1名

《目標》

疾患などによって要介護状態になったご利用者が、可能な限り自分らしく在宅生活が継続できるように支援する。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
165	165	165	165	165	165
10月	11月	12月	1月	2月	3月
165	165	165	165	165	165

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 食事
- 入浴
- 機能訓練・レクリエーション
- 送迎

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分（月曜日～土曜日）

（要介護1）	1,613円	（2割負担2,506円）
（要介護2）	1,740円	（ " 2,760円）
（要介護3）	1,873円	（ " 3,026円）
（要介護4）	2,005円	（ " 3,290円）
（要介護5）	2,138円	（ " 3,556円）

● 1割負担分（日曜日）

（要介護1）	1,241円	（2割負担1,762円）
（要介護2）	1,299円	（2割負担1,878円）
（要介護3）	1,359円	（2割負担1,998円）
（要介護4）	1,416円	（2割負担2,112円）
（要介護5）	1,476円	（2割負担2,232円）

- 食費負担 720円
- 入浴 54円
- 中重度加算 48円
- 認知症加算 65円
- サービス体制加算 20円
- レクリエーション材料費 50円～600円
- 処遇改善加算 20円～32円（介護認定区分による）

《事業実施日数》 ①月曜日～土曜日 週6日

②日曜日 週1日

《提供時間》 ①9:15～16:15（半角で入力 例 9:00～15:00）

②9:15～13:00

《職員体制》

- 管理者（常勤兼務）・・・1名
- 相談員（常勤兼務）・・・3名
- 常勤介護職員・・・4名
- 非常勤介護職員・・・18名
- 非常勤看護師（機能訓練指導員兼務）・・・9名
- ドライバー・・・9名
- 調理員・・・5名

《目標》

- 機能訓練を実施して、転倒予防や認知症予防に努める
- ご利用者の尊厳を守り在宅生活を支援する

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 手作りの昼食と職員の笑顔でご利用者を元気にする
- 日曜日のサービス時間終了後に、美容師による理美容サービスを実施する

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
680	680	680	680	680	680
10月	11月	12月	1月	2月	3月
680	680	670	670	670	670

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 食事
- 入浴
- 機能訓練・レクリエーション
- 送迎

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分  
 （週1回ご利用者） 2,084 円  
 （週2回要支援2） 4,016 円
- 食費負担 720 円
- 処遇改善加算 46円～88円（介護認定区分による）
- レクリエーションの材料費 20～600円

《事業実施日数》 ①月曜日～土曜日 週6日  
 ②日曜日 週1日

《提供時間》 ①9:15 ～ 16:15  
 ②9:15 ～ 12:30

《職員体制》 通所介護と兼務

《目標》

- 機能訓練を実施して、転倒予防や認知症予防に努める。
- ご利用者の尊厳を守り在宅生活を支援する。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 手作りの美味しい昼食と職員の笑顔でお迎えする。
- 日曜日のサービス時間終了後に、美容師による理美容サービスを実施する。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
40	40	40	40	40	40
10月	11月	12月	1月	2月	3月
40	40	40	40	40	40

平成30年度[横浜市若葉台地域ケアプラザ]  
収支予算書及び報告書(一般会計)<地域活動>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	13,734,000		13,734,000	13,734,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0		0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	17,724,000	0	17,724,000	17,724,000	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,000,000		9,000,000	0	9,000,000	
本俸	5,950,000		5,950,000	0	5,950,000	
社会保険料	670,000		670,000	0	670,000	
手当計	2,310,000		2,310,000	0	2,310,000	
健康診断費	10,000		10,000	0	10,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	60,000		60,000	0	60,000	
その他	0		0	0	0	
事務費	640,000		640,000	0	640,000	
旅費	30,000		30,000	0	30,000	
消耗品費	110,000		110,000	0	110,000	
会議随費	10,000		10,000	0	10,000	
印刷製本費	10,000		10,000	0	10,000	
通信費	65,000		65,000	0	65,000	
使用料及び賃借料	0		0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	150,000		150,000	0	150,000	
図書購入費	5,000		5,000	0	5,000	
施設賠償責任保険	65,000		65,000	0	65,000	
職員等研修費	20,000		20,000	0	20,000	
振込手数料	10,000		10,000	0	10,000	
リース料	94,000		94,000	0	94,000	
手数料	6,000		6,000	0	6,000	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	65,000		65,000	0	65,000	
事業費	1,380,000		1,380,000	0	1,338,000	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	予算・指定額
指定管理料充当 事業	1,338,000		1,338,000	0	1,338,000	
管理費	5,984,000		5,984,000	0	2,495,000	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算・指定額
光熱水費	3,489,000		0	0	0	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	この列は入力しない
水道料金			0	0	0	
清掃費	420,000		420,000	0	420,000	
修繕費	474,000		474,000	0	474,000	予算・指定額
機械整備費	260,000		260,000	0	260,000	
設備保全費	1,341,000		1,341,000	0	1,341,000	
空調衛生設備保守	600,000		600,000	0	600,000	
消防設備保守	60,800		60,800	0	60,800	
電気設備保守	409,000		409,000	0	409,000	
害虫駆除清掃保守	60,000		60,000	0	60,000	
駐車場設備保全費	40,000		40,000	0	40,000	
その他保全費	171,200		171,200	0	171,200	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
公租公課	720,000	0	720,000	0	720,000	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	720,000		720,000	0	720,000	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他( )			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
ニーズ対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	17,724,000	0	17,724,000	0	14,193,000	
差引	0	0	0	17,724,000	△ 14,193,000	

自主事業費収入	1,338,000		1,338,000	0	1,338,000	
自主事業費支出	1,338,000		1,338,000	0	1,338,000	
自主事業収支	0	0	0	0	0	→自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	



平成30年度「横浜市若葉台地域ケアプラザ」

収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	28,809,000		28,809,000		28,809,000	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000		151,000	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0		0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0		0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0		0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0		0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当事業)	0		0		0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0		0	
収入合計	34,749,000	0	34,749,000	0	34,749,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	31,160,000	0	31,160,000	0	31,160,000	
本俸	20,000,000		20,000,000		20,000,000	
社会保険料	4,600,000		4,600,000		4,600,000	
手当計	6,330,000		6,330,000		6,330,000	
健康診断費	30,000		30,000		30,000	
勤労者福祉共済掛金	100,000		100,000		100,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	100,000		100,000		100,000	
その他	0		0		0	
事務費	360,000	0	360,000	0	355,800	
旅費	25,000		25,000		25,000	
消耗品費	195,200		195,200		195,200	
会議随費	3,000		3,000		3,000	
印刷製本費	15,000		15,000		15,000	
通信費	29,000		29,000		29,000	
使用料及び賃借料	4,200	0	0	0	0	
横浜市への支払分	4,200				0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	5,000		5,000		5,000	
施設賠償責任保険	46,600		46,600		46,600	
職員等研修費	20,000		20,000		20,000	
振込手数料	2,000		2,000		2,000	
リース料	0		0		0	
手数料	10,000		10,000		10,000	
地域協力費	5,000		5,000		5,000	
その他	0		0		0	
事業費	1,640,000	0	1,640,000	0	1,640,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算:指定額
指定管理料充自主事業(包括)	550,000		550,000		550,000	
指定管理料充自主事業(介護予防)	151,000		151,000		151,000	
指定管理料充自主事業(生活支援)	309,000		309,000		309,000	予算:指定額
管理費	1,589,000	0	1,589,000	0	1,589,000	
建築物・建築設備点検	0		0		0	予算:指定額
光熱水費	960,000	0	960,000		960,000	
電気料金			0		0	
ガス料金			0		0	この列は入力しない
水道料金			0		0	
清掃費	126,000		126,000		126,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算:指定額
機械警備費	30,000		30,000		30,000	
設備保全費	347,000	0	347,000	0	347,000	
空調衛生設備保守	78,000		78,000		78,000	
消防設備保守	10,000		10,000		10,000	
電気設備保守	80,000		80,000		80,000	
害虫駆除清掃保守	8,000		8,000		8,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	171,000		171,000		171,000	
共益費	0		0		0	
その他			0		0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他( )			0		0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	34,749,000	0	34,749,000	0	34,744,800	
差引	0	0	0	0	4,200	

自主事業費収入	0					
自主事業費支出	0					
自主事業収支	0			0		⇒自主事業(指定管理料充自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市若葉台地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日  
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	1500000		1500000	35000000		35000000	93000000		93000000	4300000		4300000
	その他	1651000	0	1651000	1128000	0	1128000	0	0	0	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費	1500000		1500000	1128000		1128000			0			0
	事業・負担金収入	151000		151000			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
		収入合計(A)	3151000	0	3151000	36128000		36128000	93000000		93000000	4300000	0
支出	人件費	20200000		20200000	24000000		24000000	72000000		72000000			0
	事務費	360000		360000	1800000		1800000	4780000		4780000			0
	事業費	550000		550000	2550000		2550000	12500000		12500000			0
	管理費	1463000		1463000			0	2000000		2000000			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	支出合計(B)	22573000	0	22573000	28350000	0	28350000	91280000	0	91280000	0	0	0
	収支 (A) - (B)	-19422000	0	-19422000	7778000	0	7778000	1720000	0	1720000	4300000	0	4300000

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

# 平成30年度 自主事業収支計画書

## 横浜市若葉台地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ゆるやか体操	75歳以上の方	315000	地活	0	315000	0	210000	105000	0
	25名		包括						
	300円		生活						
らくらく体操	75歳以上の方	210000	地活	0	210000	0	210000	0	0
	25名		包括						
	200円		生活						
なかよし親子体操	2～3歳児とその親	111490	地活	28990	82500	0	110000	0	1490
	15組		包括						
	500円		生活						
精神障害者サロン もぐもぐ	心に病を抱えている方	14000	地活	1600	12400	0	0	14000	0
	設定なし		包括						
	200円		生活						
ゆっくりノルディック	地域住民	35800	地活	35800	0	0	33000	0	2800
	15名		包括						
	無料		生活						
土曜コンサート	地域住民	140000	地活	140000	0	0	125000	0	15000
	各回によって異なる		包括						
	無料		生活						
クールシェア クール来～る広場	地域住民	30500	地活	7200	23300	0	3000	27500	0
	定員なし		包括						
	無料		生活						
福祉フェア	地域住民	88600	地活	12100	76500	0	0	88600	0
	定員なし		包括						
	無料（飲食代別途）		生活						
歌声広場	地域住民	87250	地活	25000	62250	0	60000	27250	0
	定員なし		包括						
	150円		生活						
ボランティア交流会	地域のボランティア	5530	地活	5530	0	0	0	0	5530
	定員未定		包括						
	無料		生活						
孫育て講座	地域住民	40000	地活	40000	0	0	40000	0	0
	50名		包括						
	無料		生活						
若葉台中学校 地域交流の日	若葉台中学校生徒	0	地活	0	0	0	0	0	0
	180名		包括						
	無料		生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成30年度 自主事業収支計画書

## 横浜市若葉台地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	65歳以上の横浜市民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	定員なし		包括						
	無料		生活						
ボランティア講座	地域住民	0	地活						
	定員なし		包括						
	無料		生活	40000	0	0	40000	0	0
ジュニアボランティア講習会	ジュニアボランティア	0	地活	0	0	0	0	0	0
	定員なし		包括						
	無料		生活						
パン工房わかば	心に病を抱えている方	0	地活	0	0	0	0	0	0
	設定なし		包括						
	パン代		生活						
けあぷらカフェいこい	地域住民	23000	地活						
	設定なし		包括	0	23000	0	0	23000	0
	飲み物代100円		生活						
歌って健康！	65歳以上の地域住民	144000	地活						
	30名		包括	75000	69000	0	144000	0	0
	300円		生活						
男性のためのGOGO健康講座	65歳以上の男性	82000	地活						
	25名		包括	82000	0	0	77000	5000	0
	無料		生活						
GOGO健康講座	65歳以上の地域住民	42000	地活						
	30名		包括	42000	0	0	37000	5000	0
	無料		生活						
エンディングノート活用講座	地域住民	0	地活						
	30名		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活						
体力測定教室	自主グループ	25000	地活						
	定員未定		包括	25000	0	0	25000	0	0
	無料		生活						
コミハ健康講座&出張相談	地域住民	0	地活						
	定員なし		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活						
介護者のつどい	地域住民	2000	地活						
	50名		包括	2000	0	0	0	2000	0
	無料		生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成30年度 自主事業収支計画書

## 横浜市若葉台地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
横浜旭中央病院 市民公開講座	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	
	設定なし		包括						0
	無料		生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市若葉台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ゆるやか体操	75歳以上の高齢者を対象に椅子に座って出来る介護予防体操教室と茶話会。 目的：高齢者の健康作り・住民間の関係づくり。	毎週月曜日42回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
らくらく体操	75歳以上の高齢者を対象に椅子に座って出来る介護予防体操教室。 目的：高齢者の健康づくり。	毎週月曜日42回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
なかよし 親子体操	未就園児親子と一緒に参加できる体操教室。 目的：育児中の親子の居場所と健康増進。	毎月1回、年11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
精神障がい者 サロンもぐもぐ	精神に不安のある方の居場所づくり。 目的：精神障がい者の余暇支援を行う。	毎月1回、年11回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ゆっくり ノルディック	歩行に不安のある方や、ストックをうまく扱えていない方に向けた初級講座。 目的：地域住民に向けた健康作りと閉じこもり防止。	毎月第4金曜日12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
土曜コンサート	多目的ルームを利用した演奏会などのイベント。 目的：地域住民に向けての交流事業、また高齢者の閉じこもり防止とケアプラザの周知。	月1回、年9回

# 平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クールシェア クール来〜る 広場	自宅のエアコン消費電力を抑えて、集まって過ごせる場を提供。カレー、コーヒー、手工芸、ノルディック体験などを実施。 目的：電気消費量の軽減と地域住民の夕世代交流の場の提供。	年1回（8月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉フェア	地域住民の活動の発表の場と、障がい児・者団体や地域で活動する配食団体等による食事提供、ケアプラザの紹介健康福祉の推進。 目的：地域住民と地域で活動する障がい児・者団体等が交流できる機会をつくる。知育で活動する趣味活動団体等が生きがいを持てるよう発表の場を提供。地域に対するケアプラザの周知。	年1回（10月）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
歌声広場	童謡、唱歌、流行歌を皆で歌う。ティータイムもある。 目的：歌を歌うことによる健康づくりと古い歌を歌い回想法による脳の活性化を図る。	毎週第4金曜日12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 交流会	地域でボランティア活動をしてる方や興味のある方に集まってもらい、意見交換や情報共有を実施。 目的：地域で活動する個人・団体ボランティアが双方で情報の共有と、これからボランティアを始めたい人のきっかけづくり。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
孫育て講座	現在の出産・育児・子育てについて学ぶ講座。 目的：孫育てで孤立しないように、子育て世代への理解を深め、地域で子育てをすることの意識付け。	年1回（4月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
若葉台中学校地 域交流の日	中学生に対して、認知症サポーター養成講座、車いす体験、高齢者疑似体験、白状の説明の実施。 目的：中学生が福祉に接する機会を得られることで地域に対する福祉保健の推進を図る。	年1回（11月）

# 平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	よこはまシニアボランティア登録研修会テキストに基づく講義。 目的：よこはまシニアボランティア登録に必要な研修を実施し、地域住民がいきいきと活動を行えるように支援する。	毎週第4金曜日12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア講座	ボランティア活動の基礎知識編やスキルアップ編などの講座。 目的：これからボランティアを始めたい方や興味のある方へのきっかけづくりと、すでに始めている方へのフォローアップ。	年3回～4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ジュニアボランティア講習会	ジュニアボランティアの小学5,6年生を対象に、車いす講習会及び高齢者疑似体験キットを使用した講習会。 目的：地域の子供達に福祉についての知識や理解を深める機会づくり。	年1回(8月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パン工房わかば	わかば学園の生徒によるパンの販売と学校紹介。生徒の職業体験。 目的：パン販売を通して生徒の職業意識を高めると共に地域の方に若葉学園を知っていただく機会。	毎月3回程度 (火曜日・金曜日)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
けあぷらカフェいこい	認知症カフェ。 目的：認知症の方とその家族が地域の人と交流でき、専門家に相談できる機会。	毎月第2日曜日・年1

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌って健康！	音楽を通じた健康作り教室。 目的：介護予防の普及・啓発を図る。	毎月1回・年12回



# 平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性のためのGOGO健康講座	高齢男性を対象とした健康講座(ロコモ予防体操・栄養講座・口腔ケアを組み入れた年間コース)。 目的：介護予防の普及・啓発を図る。	毎月1回・年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
GOGO健康講座	高齢者を対象とした健康講座(年5回コース)。 目的：介護予防の普及・啓発を図る。	5月～年5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エンディングノート活用講座	エンディングノートの書き方の講習を通し、講師による介護保険制度、成年後見制度、遺言・相続などについての講座。 目的：旭区版エンディングノートを活用して、書き方の講習、権利擁護の啓発。	年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
体力測定教室	ケアプラザ事業から自主化したグループの活動支援として体力測定を行う。 目的：自分の体力を認識し、今後の活動に必要な体力の維持・向上の目安とする。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コミハ健康講座&出張相談	コミュニティーハウスで体操・脳トレ・口腔ケア・相談コーナー。 目的：ケアプラザまで距離のある地域の方への相談の窓口と、介護予防の普及・啓発を図る。	毎月1回・年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	家族の介護をしている人、介護経験のある人、介護に関心のある人を対象とした茶話会、施設見学会、医師を招いての懇談会など、福祉や介護の情報を提供する。 目的：介護者へ福祉や介護の情報を提供し、介護者同士の情報交換や気分転換を図る。	年6回

# 平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜旭中央病院 市民公開講座	地域の医療機関である横浜旭中央総合病院の医師が、一般住民にわかりやすく疾病について解説する。 目的：地域住民に専門医による身近な疾病について講座受講の機会をつくる。	年2回